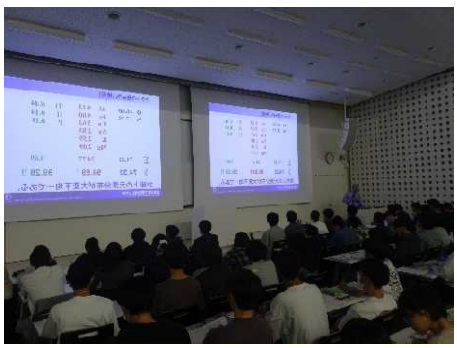
# 令和８年度　長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

| | |
|---|---|
| 名　称 | SSRⅡキャリアデザインツアー（普通科理系） |
| 期　日 | 令和８年 10 月８日（木）～ ９日（金） |
| 会　場 | 東北大学工学部、農学部、東北大学金属材料研究所、<br>東北大学電気通信研究所、東北大学災害科学国際研究所(仙台市) |
| 対　象 | ２年生普通科理系 |
| 目　的 | 大学や研究機関で行われる研究活動が、社会課題解決に果たす役割について知り、その意義や有用性について理解を深める。模擬講義や学科見学を通じ、科学や科学技術に対する興味・関心・意欲を高め、同時に、学びへの意欲や進路意識も高める。 |
| 内　容 | 【１日目】<br>・東北大学工学部、農学部訪問<br>⇒工学部紹介、朱教授の模擬講義、学科見学<br>⇒農学部紹介、亀岡准教授の模擬講義、コモンズ・圃場見学、研究紹介<br>・ホテルにて、本校卒業生（東北大学生）との座談会<br>【２日目】<br>・３コースに分かれ、以下の各施設①～③を見学<br>① 東北大学金属材料研究所<br>② 東北大学電気通信研究所<br>③ 東北大学災害科学国際研究所 |



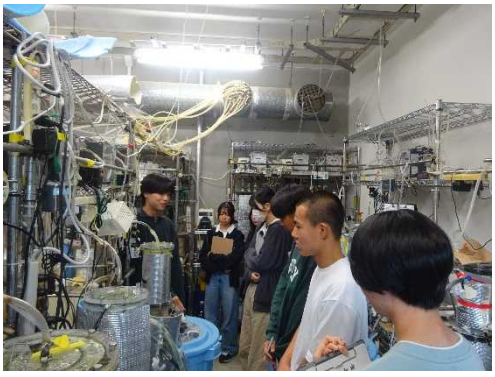
工学部紹介



朱　鴻民　教授による模擬講義



卒業生との懇談会



建築・社会環境工学科

<table>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>電気情報物理工学科</td><td>東北大学電気通信研究所</td></tr>
<tr><td>感想など</td><td colspan="2">（卒業生との座談会）<br>・大学について有用な質問をすることができ、また卒業生の説明を聞いてイメージを膨らませることができた。大学での学習を垣間見ることができて満足。<br>・今まで知らなかった事やどんな経験を積めばいいかなど詳しく知る事ができ、目標を明確にする事ができた。<br>・パンフレットやオープンキャンパスだけではなかなか聞くことができない大学生のリアルな生活について自分から質問する良い機会だったから良かった。<br>・質問を積極的にして今まで分からなかったことや不安を解消できた。また勉強へのモチベーションも上がった。<br>・実際に難関大学に進学された先輩方が今の自分と同じ時期にどのくらい頑張っていたのかを聞いたことで大学受験に対する一つの努力の指標ができたと感じた。学びに対する意欲は与えられるものではなく自分で見つけ、育てるものだということを感じた。<br>（研究所訪問）<br>・音に関する研究や、VR など興味のある研究が見れたので良かった。<br>・材料科学の最先端の研究所で、充実した設備を間近で見ることができた。また、宮本先生のお話がとても興味深かった。興味関心を広げるよい機会になった。<br>・災害・避難へのボランティア活動へのアプローチ方法、現状、行われている活動について理解を深めながら、認識を改めることができた。<br>・スーパーコンピュータを間近で見ることができて、研究が日常生活に大きく貢献していることが分かった。研究機械が充実していて企業との共同開発などにも力を入れていることが理解できた。<br>・オープンキャンパスではなかなか大学院や大学の研究施設を見学することが難しいので、今回の機会を経て大学院へのイメージや関心がより深まった。<br>・大学がその後の人生にどのように生かされるのかを学び、大学での学びが私たちの生活をより豊かに安全にするために役立てられていることを実感できた。<br>・その研究が社会にどんな風に貢献しているのかなどを分かりやすく教えていただき、とても良い時間になりました。自分も大学で研究してそれを社会に貢献できるようになりたいです。</td></tr>
</table>